

誰もが聴きたい、あの名曲を。

誰もが知る珠玉の名曲3曲を、2026年3月、
女性ピアニストとして一公演で弾ききる偉業を成し遂げた酒井有彩が、
今度はサントリーホールで披露します。

3大ピアノ 協奏曲

The Three Great
Piano Concertos

ショパン

ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 op.11

ラフマニノフ

ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18

チャイコフスキー

ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23

※都合により変更となる場合がございます。



©K.Miura



酒井有彩(ピアノ) 渡邊一正(指揮) 東京交響楽団(管弦楽)

©T.Tairadate / TSO

2027
1.6 [水] 14:00開演 (13:15開場) サントリーホール 大ホール

S席 8,500円 A席 7,500円 B席 6,500円 P席 5,500円 全席指定(税込)

一般発売: 2026年9月26日(土)10:00~

主催: KOA CREATIVE / MIYAZAWA & Co.

お問合せ: サンライズプロモーション 0570-00-3337 (平日12:00~15:00) ※チケットの取扱はございません

※未就学児童の入場不可。※都合により曲目が変更となる場合がございます。※車椅子席をご希望のお客様はS席チケットを購入の上サンライズプロモーションへ事前にお問い合わせください。



©Hiromi Nagatomo

酒井有彩(ピアノ) Arisa Sakai(Piano)

文化庁新進芸術家在外研修員として渡欧。ベルリン芸術大学を最優秀で卒業。ドイツ国家演奏家資格を取得。幼少よりピティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会、全日本学生音楽コンクールをはじめ、マルサラ市国際コンクール第2位、ジュネーブ国際コンクールセミファイナリスト、レオポルド・ベラン国際コンクール第1位など国内外にて多数入賞。ポーランド国立放送響、リベランプレート響、東京フィル、東響、新日本フィル、群馬響、大フィル、大阪響、関西フィル、日本センチュリー響、モディリアーニ弦楽四重奏団等と共演。2021年に大阪響(指揮:横山奏)とラフマニノフのピアノ協奏曲第2番を共演、「音楽の友」誌にて「優しさと厳しさが入り混じった世界を巧みに描き出した」と絶賛された。NHK Eテレ「クラシック音楽館」、テレビ朝日「題名のない音楽会」に出演。「家庭画報」誌等、メディアにも掲載される。CHANEL Pygmalion Days アーティスト。Music Dialogue アーティスト。(一財)地域創造公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト。今春より愛知県立芸術大学非常勤講師として後進の指導にもあたる。2019年「ラヴェル ピアノ協奏曲」(レコード芸術誌特選盤)で鮮烈なCDデビューを果たし、「憧憬/Sehnsucht nach Leipzig」、ヴァイオリンとのデュオで「歌う旅路」と3枚のアルバムをリリース。2026年3月には、一公演で三大ピアノ協奏曲を弾ききるといふ、女性ピアニストとしては極めて稀な偉業を成し遂げた。

www.arisasakai.com



©K.Miura

渡邊一正(指揮) Kazumasa Watanabe(Conductor)

1991年東京フィルハーモニー交響楽団を指揮してデビュー。2015年4月から東京フィルのレジデント・コンダクターおよび指揮者を2021年5月まで務める。また1995年～2002年には広島交響楽団正指揮者も歴任。これまでN響の定期演奏会を始め、日本国内の主要プロ・オーケストラへ定期的に客演しその音楽性と指揮に対する信任を得ている。オペラでは新国立劇場でマスカーニ歌劇「友人フリッツ」、バレエでも同劇場バレエ団「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「ドン・キホーテ」などを指揮し、2006年「白鳥の湖」新演出の指揮でも大成功を収めた。またサンクトペテルブルグ交響楽団の定期演奏会に客演するなど、海外でも活躍している。ピアニストとしても8歳の時に東京交響楽団、東京フィルと協演。87年～89年まで渡欧しハンス・ライグラフ教授に師事。その後、東京フィル定期、広島響定期などで弾き振りを含むプログラムを行なうなど、ピアニストとしての才能も高く評価されている。



©T.Tairadate / TSO

東京交響楽団(管弦楽) Tokyo Symphony Orchestra

1946年東宝交響楽団として創立。文部大臣賞をはじめとした日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。川崎市、新潟市と提携し、コンサートやアウトリーチを積極的に展開する他、「こども定期演奏会」や「アジア・プロジェクト」等の多角的な活動も注目されている。新国立劇場のレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。ウィーン楽友協会をはじめ海外公演も数多く行う。ITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、22年には史上最多45台カメラを用いた《第九》公演を配信し注目を集めた。近年は日本のオーケストラ界を牽引する存在として高く評価されており、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」では2022年に《サロメ》が第2位、2023年には《エレクトラ》が第1位に選出された。2026年4月よりロレンツォ・ヴィオッティが第4代音楽監督に就任した。

プレイガイド ※当日券発売ありの場合は座席選択不可となります

■ MIYAZAWA & Co. <https://www.funity.jp/tickets/miyazawac/show/3Pi270106/2/1/> **ミヤザワ チケット 検索**
■ チケットぴあ <https://t.pia.jp/> ■ ローソンチケット <https://l-tike.com/> ■ イープラス <https://eplus.jp/>
■ サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (10:00～18:00 休館日を除く) <https://suntory.jp/HALL/>

